

なお、学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいているので、参加登録手続きの必要はありません。

日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ、事件・事故等によりやむを得ず開催が中止された場合でも、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

1. フェスタ企画へ参加の方

1. 事前登録期間

8月3日～9月7日

※参加費のお支払い期限：9月7日

2. 申込方法

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。

3. 参加登録費

フェスタ企画の参加登録費は以下のとおりです。いずれもプログラム集が含まれます。

会員区分	事前登録	当日登録
正会員*1	14,000円	16,000円
非会員	24,000円	26,000円
学生会員	3,000円	4,000円
非会員学生	4,000円	5,000円

*1…個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員企業に所属する方が対象です。

※参加費の課税区分はすべて課税です。

4. お支払い方法

お申込み後に請求書兼振替用紙を送付しますので、期限までにお支払い下さい。期限を過ぎてご入金を確認できない場合、事前登録は無効となります。会期当日に現地で当日登録手続きを行って下さい。

5. 領収書の発行

参加証等を事前送付する際に同封します。

6. 参加証等の送付

振込期限までにご入金を確認できた方に対して、予稿集発行日以降に参加証等を送付します。なお、プログラム集の受け取りは事前配布と現地受け取りのいずれかを選択できます。

7. 予稿集 (Web)

期日までに入金を確認できた方は、パスワードを発行し、予稿集 (Web) をご覧いただくことができます。

2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。受理通知メールが参加証を兼ねますので、出力の上、当日受付にてご提出下さい。

日本化学会第96春季年会 (2016) のお知らせ

第96春季年会実行委員会

第96春季年会 (2016) は、2016年3月24日 (木) より4日間にわたり同志社大学京田辺キャンパスにて開催いたします。

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一同に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの年会では6,000件にも及ぶ発表がなされますが、今回の春季年会におきましてもさらに多くの研究発表の応募を期待しています。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学官や産産の交流・連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」を紹介いたします。

これに加え、3時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」、会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「外国人の特別講演」、次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので、奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄 (8・10・11・1・3月号) でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開していきますので、併せてご覧下さい。

会期 2016年3月24日 (木) ～27日 (日)

会場 同志社大学京田辺キャンパス (京田辺市多々羅都谷 1-3)

実行委員長 三浦 雅博 (大阪大学大学院工学研究科・教授)

内容 アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) (口頭・ポスター)

アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) (口頭・ATPポスター)

外国人の特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座

中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・若い世代の特別講演・その他委員会企画ほか

重要な日程 講演申込期間 2015年11月12日～11月28日 詳細は本誌10月号

予稿原稿提出期間 2016年1月5日～1月20日

参加予約期間 2016年1月22日～2月26日 詳細は本誌1月号

プログラム公開 2016年2月23日(予定)

予稿集(DVD, USB)発行日 2016年3月10日(予定)

問合せ先

日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

URL: <http://www.csj.jp/nenkai/>

特筆事項

日本化学会では年会の国際化を推進しており、英語での講演を推奨しております。会員の皆様のご協力で英語講演件数が顕著に増加しておりますが、第96春季年会ではさらなる増加が望まれます。つきましては、次のカテゴリーに該当する方におかれましては、英語での講演に積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします(A講演での年会発表経験者、あるいは大学院修士課程(前期課程)2年以上、B講演、受賞講演(学術関連))。また、ポスター発表はポスターパネルの英語での作成をお願いいたします。

アカデミック・プログラム(AP:一般研究発表)の講演申込者および講演者は、原則として本会会員に限ります。発表予定の方で未入会の方は、お早めに当会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/kaiin/index.html>)よりご入会の手続きをお願いいたします。入会手続きに関してのお問合せは、下記までお願いいたします。

問合せ先

日本化学会 総務部 会員担当

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話(03)3292-6169 FAX(03)3292-6317 E-mail: member@chemistry.or.jp

1. アドバンスド・テクノロジー・プログラム(ATP)

春季年会では、産業界が注目する化学技術分野で産学官の研究者が研究発表や討議を通じて交流深耕を図ることを目的として、2005年よりアドバンスド・テクノロジー・プログラム(ATP)を実施してきました。12年目を迎える今回のATPでは、産業界注目の3分野で企画を刷新したATPセッションや研究シーズと企業ニーズのマッチングが期待できるATPポスターなど、産学官の参加者がface-to-faceで実質的な交流ができる多くの場を提供します。

開催期間 2016年3月24日～27日

※実施セッションにより異なる

開催場所 同志社大学※第96春季年会会場内

実施セッション ()は予定サブセッションのキーワード

T1. 資源・次世代エネルギーと環境(仮称)

(光エネルギー創製、水素社会・燃料電池・エネルギーキャリア、蓄電池、資源の有効活用(ケイ素など))

T2. 話題の技術～実用化のカギを握る新素材～(仮称)

(プリンテッドエレクトロニクス、バイオミメティックナノ空間材料)

T3. バイオ技術の新展開(仮称)

(生体適合性材料・再生医療、バイオ計測・バイオセンサー、バイオベンチャー)

*最新情報はウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開いたしますのでご覧下さい。

2. 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年会では、中・長期戦略に基づくシンポジウム「中期テーマ」を6件実施予定です。

- ・元素戦略：未来へ向けて
- ・分子設計と分子技術(仮)
- ・ケミカルバイオロジーの新展開—機器分析とライフインベーション

・再生可能エネルギーはいつ土俵に乗るか?：「社会の要請」と基礎研究の姿勢

・複雑系のための分子科学—新しい分子機能の創成にむけて

・Organs on a chipの最新動向と生体分子科学との接点を求めて

趣旨やプログラムにつきましては、ウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時更新いたします。また、詳細につきましては本誌1月号に掲載予定です。

3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内(9時30分～12時30分または13時30分～16時30分)で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することとなり、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。また、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等のお支払いはしていません。あらかじめお含み置き下さい。※下記とは異なる企画を実施したい場合は、「コラボレーション企画」へお申し込み下さい。詳しくはWebを参照。

1. 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
2. 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
3. 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
4. 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、15件程度を採択させていただきますが、企画案によっては修正をお願いする場合があります。採択された特別企画につきましては、10月末までに最

終企画書を再提出いただきます。

応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」および「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようにご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認ください。

開催日 第96春季年会会期の初日もしくは最終日

開催時間 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 企画タイトル (和文/英文/略称)
2. 本企画に関連が深い一般講演の分野
3. 本企画を今年度の春季年会で提案する理由、意義
4. 趣旨文 (約300字)
5. プログラム案もしくは講演者案

※講演者については、あらかじめ、内諾を取って下さい。その際には、予稿原稿 (2ページ) と略歴が必要であることも合わせてご連絡下さい。

6. 開催予定日 (2016年3月24日および27日) のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
7. 予想聴講者数
8. 企画責任者氏名、所属 (官学界、産業界各1名)
9. 応募者氏名および連絡先 (勤務先所在地、電話番号、E-mail)

締切 2015年9月24日 (木) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

4. 「外国人の特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演 (講演時間50分) 願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払いおよび接待はいたしかねますので、あらかじめお含み置き下さい。

講演日時 第96春季年会会期中 (採択時に決定)

講演時間 50分

推薦方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演候補者名・所属・役職・国名・演題 (仮題)
2. 専門 (なるべく詳しく) および推薦理由
3. 略歴 (年齢もお書き下さい)

4. 講演希望日 (会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望にそえない場合もありますのであらかじめご了承下さい。例: 3月25日午後)

5. 講演会場希望 (特別講演用会場もしくは一般会場)

6. 推薦者氏名および連絡先 (勤務先所在地、電話番号、E-mail)

締切 2015年9月24日 (木) 締切厳守

※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

推薦先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

5. 第30回若い世代の特別講演会講演者募集

化学および化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっています。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学および化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようご案内いたします。

会期 第96春季年会会期中

会場 第96春季年会会場 [日本大学]

講演件数 選考の上、20件以内 (講演時間: 25分+討論5分)

応募資格 本会に1年以上在籍する40歳以下 (講演会が行われる年 (2016年) の4月1日現在) の個人会員。ただし、過去に若い世代の特別講演に受賞している者および本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演申込書 (①講演部門, ②講演題目, ③氏名, ④生年月日, ⑤会員番号, ⑥所属, ⑦連絡先, ⑧略歴)
2. 講演内容 (図表を含め2枚)
3. 講演に直接関連した発表論文リスト (学会発表, 特許等を含み10件以内)
4. 申請趣旨 (研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの)

講演部門 1. 物理化学, 2. 無機・分析化学, 3. 有機化学, 4. 材料化学・高分子化学, 5. 天然物化学・生体関連化学 (医薬農薬を含む), 6. 複合領域 (情報・計算機化学, 地球化学, 環境化学, 資源・エネルギーを含む)

締切 2015年9月24日 (木) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

会員委員会からのお知らせ

〔日本化学会への入会勧誘のお願い〕

〔お好きな元素記号入りマグカップキャンペーン, 教育会員も対象になりました〕

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。新入個人正会員およびその紹介者の方に「お好きな元素記号入りマグカップ」を贈呈する入